

男女共同参画へ一歩いっぽ。〔パ・ザ・パ〕

# Pas à pas

No. 26  
2016 MARCH

P2 特集 「私らしい職業選択」

## 13歳からの DESIGN MY LIFE

P7 静岡市女性会館  
全国女性会館協議会  
事業企画大賞受賞

P8 平成27年度  
静岡市女性の活躍  
応援事業所表彰

P10 女性の活躍応援事業所紹介  
興津螺旋株式会社

P12 静岡市が  
「共働き子育てしやすい街」  
地方編 第1位 になりました



働く先輩の声をきく!!

「私らしい職業選択」

# DESIGN

～13歳からのデザイン・マイ・ライフ～

# MY LIFE

職業選択の自由は、日本国憲法第 22 条で保障されています。

でも実際には、

「〇〇って、男の人の仕事じゃないの？」

「〇〇って、女の人の仕事っぽいイメージだよな？」

そんな固定観念によって、選択の幅を狭くしてしまっていることがあるのかもしれない。

今回は、「異性の多い職場の中で活躍している 4 人の先輩」にお話を伺いました。

本当に自分がやりたい仕事って何だろう。

将来、自分の好きなこと・得意なことを活かせる職業に就くために。

今から、自分の人生をデザインしてみませんか。



アシタのワタシはワタシがキメル!

>>>>>>

road to my dream > >>>>>工業高校>>大学>>建築士



## 皆が安全・快適・長く 使い続けられる建物を

建築士 小澤 映里さん（40歳）

工業高校から大学を経て、建築士に。沖縄の設計事務所で13年働いた後、現在は静岡市都市局建築部公共建築課勤務。建築士の夫と長女（小3）、次女（小1）の4人家族。

父が自宅で建築設計事務所を営んでいたため、幼い頃から父が製図板に向かって仕事をする姿を「すごいなあ。」と憧れの気持ちで見えていました。小学校低学年の頃には、将来は建築の道へ進むことを心に決めていたと思います。

建築の道を志し、工業高校に進学。クラスには女子が5人位しかいませんでしたが、ストレスには感じず、むしろとても楽しかったです。高校では実務的なことを勉強し、大学では建築の歴史、都市計画、大規模建築の設計等、幅広く学びました。

大学時代に**沖縄**出身の友人ができ、夏休みにその友人の実家に遊びに行った時、大変なカルチャーショックを受けました。言葉や文化、自然環境等、本土とは大きく違っていたのです。こういう所が日本にあるんだ、こんな所で生活してみたいと心惹きつけられ、卒業後沖縄にある設計事務所に就職しました。2~3年働くつもりが、居心地が良くて、気付けば13年勤務していました。その間結婚・出産し、子育てをしながら働いていましたが、仕事との両立を考えると親の近くの方が働き易いだろうと感じるようになりました。また、**静岡**を離れて20年弱、地元静岡の良い所も分かるようになっていました。丁度そんな折、市の建築技術職の募集を知り、やってみようと思いつき、実家のある静岡に家族を連れて帰ってきました。

現在、市役所の公共建築課で学校や市営住宅などの公共の建物の設計や現場監理を行っています。週の半分は現場に出て図面通り工事が進んでいるかを監理し、残りの半分は職場で図面を描いたり、提出された書類や施工図のチェックをしたりしています。



多くの市民の方が利用する建物に関わる**責任**のある仕事なので、特に「安全」で「快適」に「長く使い続けられる」建物となるよう、常に心掛けています。一つの建物が完成するまでには、非常に長い時間、多くの人が携わっています。品質や工期、予算等、様々な問題に直面しながらも、粘り強く取組み、完成させることが求められます。時には悩むこともありますが、しっかりと向き合い、地域の方々にとってより良い建物をつくり続けていきたいです。

私の職場では、技術職24名の内、7名の女性が働いています。最近では、女性の**活躍**しやすい環境になりつつあると思います。

私には小学生の娘が二人います。昼間は仕事に集中し、夕方娘たちを児童クラブへお迎えに行く頃からお母さんスイッチが入り、家庭モードへ。時には夫やおばあちゃんが迎えをしてくれることもあります。平日は忙しい生活ですが、休日は家族とのリラックスした時間を楽しんでいます。

幼い頃に思い描いていたことと違う場面や難しさも多々ありますが、仕事を続けていくことで、**充実感**や**達成感**を味わうことも数多くあります。続けることで、見えてくるものがあります。皆さんも自分の興味のあるものは、是非やり続けてみて下さい。

Dear 小澤さん < <<<< From 公共建築課スタッフ

業務においても女性ならではの心遣い・工夫等と様々なものが取り入れられています。今後の活躍を期待しています。

road to my dream > >>>> 高校 >> 看護専門学校 >> 看護師



## 安心・安全な手術を 受けていただくために

看護師 久保 浩 さん (40歳)

静岡市立静岡病院の男性看護師第1号。手術室に配属され19年。現在は副師長として、通常勤務に加え、手術運営やスタッフの教育、指導も行う。妻は同じ病院に勤務。娘2人(小3、年中)と、息子1人(3歳)の5人家族。

**私**が高校1年生の頃、父親から「男性でも看護師になれる」「これからの時代は資格のある職業が良い」と勧められたのがきっかけです。また、当時1つ年上の親戚の男性も看護師を目指していたことや、病気で入院を繰り返していた母親の見舞いで看護の場に触れる機会が多かったこともあり、自然と興味が向いていきました。

看護専門学校では男子生徒第1号、市立病院でも男性看護師第1号。しかし、女性ばかりの中に入っていきことへの抵抗はなく、むしろ「自分が**新しい道**を切り開いていくんだ」という魅力を感じていました。

勤務1年目から現在までずっと手術室に勤務しています。

12診療科の手術が日替わりで毎日行われており、年間4000件以上の手術をスタッフ30名(うち男性6名)でこなしています。手術中の医師の介助や、患者さんの状態の観察をはじめ、安心・安全な手術を受けていただくための様々な看護を行っています。現在は副師長として管理業務も増え、手術の運営やスタッフの教育指導など、幅広い**視野**で考え実践しています。

看護師として大切だと思うことは、相手の気持ち、相手が何を求めているかを考え、気付き、気を配ることです。手術は医師、看護師と**チーム**で行っているので、協調性を持ち気を配ることはとても大切です。術前の限られた時間の中で少しでも患者さんの不安や期待、思いを知り、寄り添うことに務め、患者さんのニーズに応えられるよう心掛けています。手術は無事に終わって当たり前であり、そのためにはスタッフ一人一人が決められたことをしっかり行うことが大切です。個人の教育と、手術に関わる全てのスタッフへの働きかけを常に考えています。



また、看護師の仕事は体力のいる仕事です。長時間の手術では、食事はもちろん、トイレも行けず、立ちっぱなしで仕事に集中しなくてはなりません。しかし、術後順調に回復される姿を拝見したり、笑顔で感謝の言葉を頂いた時、また、緊急手術で生死をさまよう状態をチーム全体で乗り切り、術後**元気**になられた時などは大変嬉しく、やりがいを感じます。

今後は自身の管理者としてのスキルアップを目指し、スタッフ皆がやりがいを持って働き続けられる職場となるように努めていきたいです。そうすることで、患者さんにより安全でより安心して頂ける看護が提供できると考えています。

**看護**の分野は、以前はほとんど男性のいない職種でした。しかし今ではだいぶ人数も増え、各部署で活躍しています。女性の職場だった分野に男性が入ったことの意味は大きいと思います。例えば羞恥心を伴う処置を行う際など同性の方が良い場合もありますし、身体の大きな患者さんを補助する際にも男性の方が力があるなど、男性・女性両方がいることで、患者さんのニーズに応える幅も広がるのではないかと思います。もっともと男性の看護師が増えて欲しいです。

看護の仕事は、復習はもちろん、新しい知識も取り入れ、専門職として常に勉強し続けなくてはなりません。**生涯**自分を高めていけるとてもやりがいのある仕事です。興味のある方は是非考えてみてください。

Dear 久保さん < <<<< From 静岡病院スタッフ

看護をしている姿はいつも熱く、家でも父親として頑張る姿は、看護師としても一人の男性としても尊敬しています。

road to my dream > >>>> 高校 >> 消防学校 >> 消防士 >> 救急隊員



## 傷病者の心に 寄り添って

救急隊員 森下 愛子さん (30歳)

消防士として入隊後、救急課程を取得し現在は救急隊員として活躍。休みの日には読書や買い物でリフレッシュ。日頃の疲れを取るために体を休めることも心がけている。両親と同居。4人きょうだいの末っ子。

**高校**の進路相談で、消防士である父親が、突然「娘には消防士になってほしいと思っています。」と言ったのがきっかけです。当時、大学進学を考えていましたし、同級生たちもほとんど進学のために勉強をしていましたので、その言葉はまさに青天の霹靂<sup>へきれき</sup>でした。

父親から消防士の仕事のことは聞いており、男だらけの職場で、きつくて危険というイメージがありましたので「まさか私が消防士」という思いもありました。しかし、自分の将来については、「人の役に立つ仕事をしたいなあ。」「自分の利益よりも人を励ますような仕事、理学療法士もいいな」と漠然とと思っている程度でしたので、父親に**背中**をおされる形でこの仕事に就きました。

現在は葵消防署の救急隊員として、交替制勤務に就いています。葵救急隊は、市内で最も出動回数の多い救急隊です。勤務中は、昼夜問わずどの時間帯であっても、119番の救急要請があればすぐに出動し、傷病者の元へ駆けつけます。

救急隊員にとっては日常の出動でも、救急車を要請した方にとっては一生に一度あるかないかの出来事なので、傷病者の**心**に寄り添った対応を常に心掛けています。

救助した方から後日お礼の手紙を頂いたり、中には来署して下さる方もいます。この時にはとても嬉しく、改めて仕事へのやりがいを感じます。

出動が無い時は、報告書の作成や普通救命講習の受付事務などを行っています。

勤務中は**24時間**消防署で過ごし、食事も3食職場でとります。夜間は仮眠の時間もあります。もちろん年末年始も関係なく勤務がありますので、同じチームの隊員とは家族よりも長い時間を一緒に過ごしています。



この仕事は、心身共に**健康**であることがとても大切です。救急活動中は常に緊張しており、加えて食事も休憩もなかなか満足にとることができないので、心身共に非常に疲れます。体調管理には特に気をつけています。

また、忙しいとついイライラしてしまうこともありますが、それでは良い活動はできません。そんな時は、ニコッと笑って「忙しいですねえ〜」と上司や同僚職員と会話を交わし、コミュニケーションをとり、出動以外では常に**楽しく**過ごすよう心がけています。

平成28年4月1日より静岡市消防局は静岡市、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町との消防救急広域化により職員は778名から1039名に増えますが、このうち女性職員は28名。まだまだ男性ばかりです。これから消防に入ってくる女性職員のために、女性でも過ごしやすい職場環境を作っていきたいと思います。

**“消防”** という“男の職場”というイメージですが、実際に職務に就いてしまえば、男女関係なく体力練成や消火、救助訓練を実施し、火災現場で消火活動にあたり、救急現場では傷病者の搬送をします。

女性でも十分に活躍できる職場です。

体力的にハードな仕事内容ではありますがやりがいのある仕事です。進路の選択肢のひとつとして是非、消防士という職業を考えてみてください。

Dear 森下さん < <<<< From 葵消防署スタッフ

激務のなかでも、向日葵のような笑顔で職場の雰囲気  
を和ませてくれる森下さん。ハードな仕事ですが、あなたの  
頑張りのおかげです。

road to my dream > >>>> 高校>>大学>>保育士



## 保育園は「大きなうち」 子どもの世界にも多様性

保育士 山口 亮さん（32歳）

大学で社会福祉を学びながら保育士資格を取得。現在、静岡市葵区のごくま保育園に勤務。障がい者施設に勤務する妻と、長女（7才）、次女（3才）の4人家族。

**保育士**を目指そうと思ったのは、中学生の夏、保育園へ2週間ほどボランティアに行ったことがきっかけです。自分が0歳の頃から通った保育園で、卒園後も園長先生と交流が続いており、声を掛けていただきました。

「人見知りの子なのに亮君にはよくなつくね」と保育士さんに言われたことがとても嬉しかったのを覚えています。

高校生の頃、ある大学教授が保育士の仕事を国家資格化させる活動をしているという新聞記事を読みました。その大学のオープンキャンパスで、偶然その教授にお会いすることができ、ご縁を感じて同じ大学に進学。大学在学中に保育士の仕事が国家資格化され、保育士という仕事に対する社会の**期待**を感じました。

卒業後、浜松の保育園で数年働き、8年前から静岡市に戻り今の園で働いています。現在は3、4、5歳の異年齢幼児クラスの担任をしています。最初は男性保育士は私一人でしたが、昨年初めて私以外の男性保育士が園に入ってきてくれました。子どもたちは、保育園を「大きな**おうち**」と思っています。おうちの中に、男性、女性、色々な年代の人がいることは子どもたちにも良い影響があるのではないかと考えています。

保育士としての一番の**喜び**は、何と言っても「子どもたちの成長」です。ただできなかったことができるようになるというだけでなく、仲間と一緒に考え、悩み、工夫しながら保育をし、子どもたちが成長していく姿を保育士同士や保護者の方と共感しあえることにやりがいを感じます。

子どもたちと過ごす毎日楽しく**充実**したのですが、自分の保育に対して「これでいいのかな」と不安になることもあります。そんな時はできるだけ職場の仲間に相談するよ



うにしています。「自分のときはこうやったよ」「こんなこともあったよ」と聞くと、「そうやって考えればいいんだ」と新たな発見があり、前に進むことができます。

時には自分のしたいことがうまく伝わらず、保護者の方にご心配をお掛けしてしまうこともあり、自分は保育士に向いていないのではないかと思うこともありますが、そのたびに職場の仲間に励まされ、そして子どもたちの**笑顔**に背中を押され、今まで仕事を続けることができました。

「保育」という仕事をもっと社会的に認められるようになってほしいなと思います。子どもの人格形成にとって大切な役割を担う保育士という仕事を私は誇りに思っています。男性女性問わず、よりたくさんの方が保育士を目指すことを願っています。



保育士は本当に**夢**のある仕事です。毎日いろんな感動を与えてくれますし、一人の人間の基礎づくりの時期に関われることは、大きな責任を伴うとともに、やりがいもあります。「子どもが好き」という方は、ぜひ保育士を目指してください。とてもすてきな仕事ですよ。

みなさんが保育士になったときに、より働きやすい仕事になっているよう、私も社会に働きかけ、けんさん研鑽に励んでいきたいと思ひます。

Dear 山口せんせい < <<<< From ごくま保育園スタッフ

子どもにも保護者にも丁寧に接する先生です。男性の先生がいることは子どもにもいい影響ではないかと思ひます。

# 静岡市女性会館

NPO法人男女共同参画フォーラムしずおか

## Jo-Shizu メンターバンク 事業企画大賞受賞!!



平成27年11月に福岡県で開催された全国女性会館協議会第59回全国大会において、静岡市女性会館の企画「Jo - Shizuメンターバンク」が、最高賞である「事業企画大賞」を受賞しました。

「事業企画大賞」は、平成19年から施設職員の創意工夫による効果的でユニークな取り組みを評価し、事業企画の更なる発展につながることを目的に表彰されています。

「Jo - Shizuメンターバンク」は、内閣府の「平成26年度地域における女性活躍推進モデル事業」の助成を受けて構築した、地域版女性限定人材データベース。Web上でメンター（アドバイスしてくれる身近な先輩）を検索して、直接会って話を聞くことができるという仕組みです。企業におけるメンター制度と違い、関心あるメンターを利用者自身が選ぶため、満足度も高くなります。Webで検索するだけでも多様な生き方がわかることがわかり、エンパワメントされます。



年齢や所属に関係なく、女性ならば誰でも利用可能で、仕事や人生などテーマは幅広く、個人面談、複数のメンターを招いたカフェ形式、高校や大学などへのメンター派遣など、様々なスタイルでの面談に対応しています。

静岡市女性会館では、今後も女性たちのニーズに沿った色々な企画を実施していく予定です。

身近な先輩と直接会って、話を聞くことができます。あなたも検索してみませんか？



# 平成27年度 静岡市女性の活躍応援事業所表彰

平成27年11月20日、「平成27年度 静岡市女性の活躍応援事業所表彰」の表彰式が行われ、田辺市長から受賞事業所9社の代表者に対し表彰盾と記念品が贈られました。

静岡市では、平成21年度よりワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に関する取組みを積極的に実施している事業所を表彰する「ワーク・ライフ・バランス推進事業所表彰」を実施してきました。

平成26年度からは「女性の活躍応援事業所表彰」と名称を変え、ワーク・ライフ・バランスの実現に資するため女性の活躍応援に積極的に取り組んでいる事業所を表彰します。受賞された事業所の取組みは、他の事業所の参考としていただくよう、モデルケースとして積極的に紹介させていただき、ワーク・ライフ・バランスの一層の発展を支援します。



平成27年度の表彰式は、ワーク・ライフ・バランスシンポジウムの後に行われました。

**大賞**

## 興津螺旋株式会社

これまで男性のみが活躍していた工場の生産ラインに女性を配置、現在8人の「ねじガール」が活躍中。重筋作業の軽減のための電動リフターや、腕力がなくてもボルトを締められるロングレンチの採用は、女性のみでなく全ての社員の負担軽減につながりました。（P 10-11で、興津螺旋株式会社の取組みについて更に詳しくご紹介しています。）

金属製品製造  
従業員数73名

**大賞**

## 株式会社マエザワ

育児休暇中の社内研修参加や、復帰後子どもの就学前まで短縮特別勤務時間とすることを可能にする等、スムーズに復帰しやすい環境づくりを実行しています。

勤務体制や個々の事情により偏りがちな負担をできるだけ減らせるよう、プロジェクトチームも発足しました。

小売業  
従業員数64名



## 特別賞（4社）

### アオイネオン株式会社

業務の平準化、ハラスメント防止セミナーの実施、報告・相談窓口の設置等、会社と従業員の信頼感を高める取組みを行っています。また、年次有給休暇を半日単位で取得可能にし、急な受診や家族の行事等の際に取得しやすい休暇制度を提供していることや、資格取得のための受験費用の援助や奨励金の支給、企業の業績・知名度向上に貢献した者や専門能力が求められる資格を取得した者の表彰制度など、自発的な意欲を高める取組みも評価されました。

建設業  
従業員数37名

### はごろもフーズ株式会社

シェイプアップ3/4運動と題し、会議時間・移動時間・事務処理時間・時間外労働の削減に取り組んでいます。

また、経営方針として女性の活躍推進を掲げ、効率的環境整備を進めるとともに、業務領域拡大を後押しする新制度を導入しています。新たな職制の運用を開始（試験運用）し、希望により一般職の業務領域を総合職並みに拡大する等、自立的にキャリアを切り開くことを支援し、社員のモチベーションアップに繋げています。

食品製造販売  
従業員数  
567名

### 株式会社オレンジハウス

子育て中の社員が23名。会社近くに「モコ幸町保育園」を他社と共同設置し、育児中の社員も子どもを預け安心して働ける環境を整備。「子どもは社会で育てる」という考えのもと、社内全体でフォローし合う環境づくりに取り組んでいます。また、稟議書は社内のFacebookで公開稟議とすることで情報伝達のスピードアップを図り、効率的に業務が進むよう工夫。社長・社員が、早く帰るよう互いに声を掛け合って勤務時間短縮に努めています。

建築・不動産業  
従業員数55名

## 奨励賞（3社）

### 株式会社アイ・アンド・シー静岡支店

【主な取組み】

- ① 育休・介護休暇取得者の復帰支援
- ② 就労環境の整備
- ③ 時間外労働削減の取組み
- ④ 自己啓発・スキルアップの支援

情報・通信業  
従業員数11名

### 株式会社オートベル清水インター店

【主な取組み】

- ① 女性スタッフメインの店舗の設置
- ② 産休・育休取得および復帰への支援
- ③ 社内における表彰制度

卸・小売業  
従業員数4名

### 静岡ガス株式会社

定時退社日の定期的な実施や有給休暇の連続取得促進等、労働時間短縮に加え、育児休業取得促進、事業内保育所の設置、女性の管理職への登用・職域拡大等、平成23年度の「ワーク・ライフ・バランス推進事業所大賞」受賞後も新たな取組みを実施し、更なる進化をとげています。

ガス業  
従業員数  
888名

### 望月経営労務管理事務所

【主な取組み】

- ① 出産・育児休業後の職場復帰支援
- ② 子育て・仕事の両立を支援
- ③ スキルアップ・資格取得に係る支援
- ④ 働き方の見直し

社会保険  
労務業  
従業員数7名

# 女性のねじ職人 「ねじガール」が活躍中!!

おきつらせん  
興津螺旋株式会社

今回は、平成27年度静岡市女性の活躍応援事業所表彰において大賞を受賞された「興津螺旋株式会社」代表取締役社長 柿澤宏一様にお話を伺いました。



## おきつらせん 「興津螺旋」って?

静岡市清水区興津中町、国道一号バイパスから国道52号線に入るとすぐ左手に、平成27年12月に新社屋が完成したばかりの「興津螺旋株式会社」が見えてきます。

興津螺旋は現在、ステンレスねじ業界において国内No. 1の生産量を誇るトップメーカー。昭和14年に鉄製の木ねじ工場として創業し、その後ステンレスねじの可能性に着目、現在ステンレスねじをメインとして設計・製造・販売しています。「ねじ」は極めてシンプルな基盤部品ですが、住宅、自動車、電気製品等、様々な現代用品のほとんどに使用されており、私たちの生活に決して欠かすことのできない重要なものです。

『愛用してくださるお客様はもちろんのこと、1人でも多くの人たちにさまざまなかたちで貢献し、より大きな満足と喜びを届ける企業を目



指します。人々が安心して豊かな生活を営むことができるよう、コストダウン、納期短縮などの工夫はもちろん、より高品質なねじ部品を供給し続けるため、常に切磋琢磨を続けていきます。』

## 製造現場に女性を登用

数年前までは、「女性社員は経理・営業補助等の事務職」というように、性別による限定的な配属をしていました。男女の体格差・筋力差から、女性に「現場」での重労働を任せることは酷なのではないか、という懸念があったからです。しかし、かねてから女性の能力の高さに着目していた柿澤社長は、『生産ラインになんとか女性社員を登用できないものか』と構想を練っていました。

『職場環境に合わせて人材を採用するのではなく、人材に合わせた職場環境を整備していかなければ。女性にも対応できる現場を用意すればいいのではないか。』

ちょうどそんな折に入社したのが佐野瑠美さん。佐野さんは大学で外国語を専攻し、事務職枠で採用されましたが、ものづくりの現場を目の当たりにして、『私も生産現場を体験してみ

たい』という好奇心が湧きあがったそうです。

こうして柿澤社長の構想と佐野さんの希望がうまく重なり、佐野さんは興津螺旋初の「女性ねじ職人」として、生産ラインに配属されたのです。

## 女性のねじ職人「ねじガール」

佐野さんに続き、現場への配属を希望する女性社員も出てきました。現在、ねじの加工製造を行う生産ラインには8人の女性社員が活躍しています。工業製品業界において、こんなに大勢の女性社員が製造現場で活躍している例はかなり珍しく、各メディアで「ねじガール」という愛称で紹介され、注目を浴びています。

『特に女性の積極採用をしたわけではなく、優秀な人材を選んだ結果、女性が多かったということです。』

女性が大勢働く現場となったことで、女子トイレや女子更衣室の新設はもちろん、重量物の運搬のための電動リフトやNC工作機械等、省力化設備の積極的な導入や、職場整備にも力を入れました。出来上がったばかりの新社屋の倉庫はオートメーション化され、今後更にバルンサーやロボットも導入予定です。ライン全体の生産性を保ちつつ力作業を極力除去するなど、女性にも対応可能な環境を整えることで仕事が標準化されたことにより、結果として男性にとっても働きやすい職場になりました。また、不良品廃棄50%減という相乗効果も生まれています。

『福利厚生面では大手企業にかなわないかもしれませんが、例えば事務室へのベビーベッドの設置や、午後の勤務時間を2時間とすることを認めるなど、短時間でも子育て中の女性社員が社会との関わりを維持できるよう、中小企業ならではの工夫で柔軟な勤務体制を可能にしたいと考えています。また、限られた人数でも休

暇を取りやすいように、普段から定期的なジョブローテーションを行いいろんな仕事を経験してもらいたいと考えます。性別に関係なく、現場も事務もできる人材を育成したいです。』

興津螺旋は、ねじガールの活躍をはじめ、先進的な取組みが評価され、平成27年度の静岡市女性の活躍応援事業所大賞を受賞しました。

『女性の活躍を応援することは、今や、社会的責任だと考えます。今後も、希望や気づき、提案など、社員が言いたいことを言える風通しの良い企業でありたいと思っています。』



### 興津螺旋株式会社

事業内容：ステンレスねじ、チタンねじ、ニッケル合金ねじ等の設計・製造・販売

所在地：〒424-0204

静岡県静岡市清水区興津中町1424番地

電話番号：054-369-0111

従業員数：70名（男性37名、女性33名）

正社員62名（嘱託2名含む）

パート・アルバイト8名

※平成28年2月現在

ホームページ：<http://www.okitsurasen.co.jp/>

# 静岡市が「共働き子育てしやすい街」 第1位になりました

日経DUAL ランキング2015 (地方都市編)



- ★認定こども園
  - ★待機児童対策
  - ★不妊治療
  - ★子ども未来サポーター
  - ★こども医療費助成
- 静岡市の  
主な取組



1位	静岡市 (静岡県)	68点
2位	北九州市 (福岡県)	61点
3位	堺市 (大阪府)	59点
3位	福岡市 (福岡県)	59点
5位	岡山市 (岡山県)	58点
6位	小田原市 (神奈川県)	57点
7位	熊本市 (熊本県)	56点
7位	新潟市 (新潟県)	56点
9位	松戸市 (千葉県)	55点
9位	さいたま市 (埼玉県)	55点

## 共働き 子育てしやすい街 ランキング 地方編

(総合から東京を除いた市区)

11位	習志野市 (千葉県)	54点
12位	厚木市 (神奈川県)	52点
12位	柏市 (千葉県)	52点
14位	船橋市 (千葉県)	51点
15位	横浜市 (神奈川県)	50点
15位	千葉市 (千葉県)	50点
17位	川崎市 (埼玉県)	49点
18位	浜松市 (静岡県)	48点
18位	相模原市 (神奈川県)	48点
18位	大阪市 (大阪府)	48点

(日経DUAL調べ)

平成27年9月に日経BP社(日経DUAL)と日本経済新聞社が共同で主要都市あてに「自治体の子育て支援制度に関する調査」を実施し、その内容をポイント化し、「共働き子育て自治体ランキング2015」が発表されました。

今回調査した地域から東京を除いたエリアのランキングにおいて、2位の北九州市に7ポイントの差をつけ、静岡市が1位とされました。

このランキングでは、「認可園に入りたい人が入れているか」、「ファミリーサポートセンター、シルバー人材センターなどの充実度」など26項目を配点し、100点満点でランキング化しています。

静岡市については、「0歳児申請児童数に比べて定員が多いなど、インフラ面が整っている状況」と評価され、認定こども園への移行、待機児童園

の設置などの取組みが紹介されています。また、未就学児向けサービスについても「子育てトーク事業」、「一時保育事業」、「子育て支援ヘルパー派遣」などの取組みが紹介されています。

市にとって思いがけない朗報でしたが、これは、子ども・子育て支援の取組みにかかわるすべての皆様の努力の賜物であり、地域の総力への評価と受けとめています。市としては、これに満足せず、更なる支援の充実を図るとともに、これを好機として、「子育てしやすいまち静岡市」を市内外に情報発信していきます。

これからも  
がんばります!!

パザパ26号へのご意見・ご感想をお寄せください。

〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1 静岡市市民局男女参画・多文化共生課  
TEL: 054-221-1349 FAX: 054-221-1782 Eメール: sankaku@city.shizuoka.lg.jp

